

よしみ ぎかい



2号

2023.11

5年9月定例会

- 令和4年度決算 P 2 ~
- 主な議案の内容 P 8 ~
- 一般質問に12名登壇 P13~



令和4年度の決算を認定

9月定例会は、9月5日から9月22日までの18日間の会期で行われました。

今定例会は、令和4年度の各会計決算認定、令和5年度一般会計および特別会計等補正予算、条例の一部改正、人事案件等の20議案が上程されました。町長提出議案のすべてが、可決、認定、同意、採択されました。なお、請願1件は不採択となりました。

各種会計決算収支状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		83億3079万1931円	75億7500万4362円	7億5578万7569円
特別会計	国民健康保険特別会計	23億 498万2605円	22億5135万1674円	5363万 931円
	後期高齢者医療特別会計	2億4097万4891円	2億3726万5059円	370万9832円
	介護保険特別会計	18億2198万3262円	17億2313万6206円	9884万7056円
	下水道事業特別会計	4億8892万1431円	4億2590万9820円	6301万1611円
	農業集落排水事業特別会計	3億4133万9079円	3億1853万1009円	2280万8070円
	公設浄化槽事業特別会計	1688万3962円	1536万9045円	151万4917円

水道事業会計

収益的収入および支出

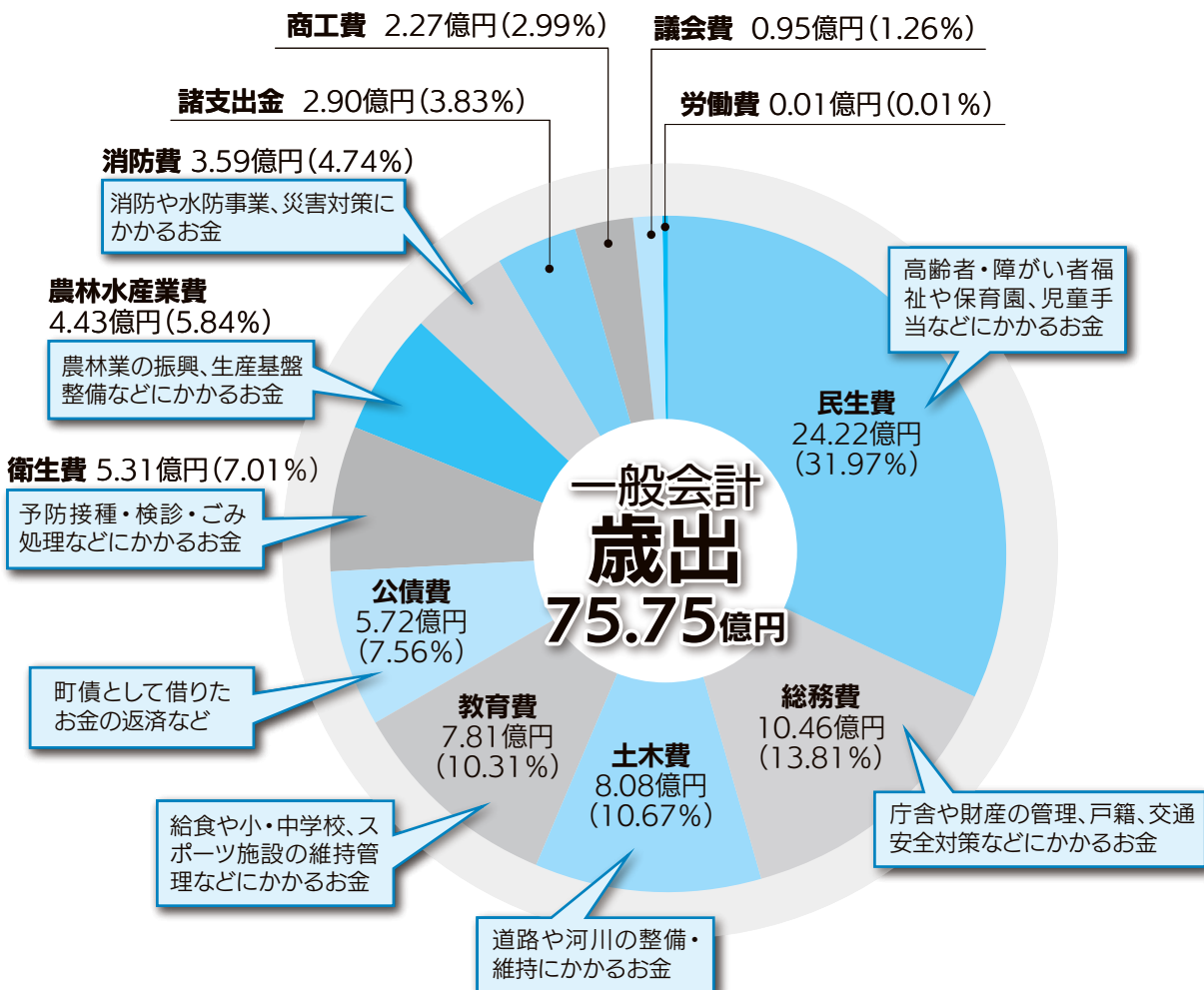
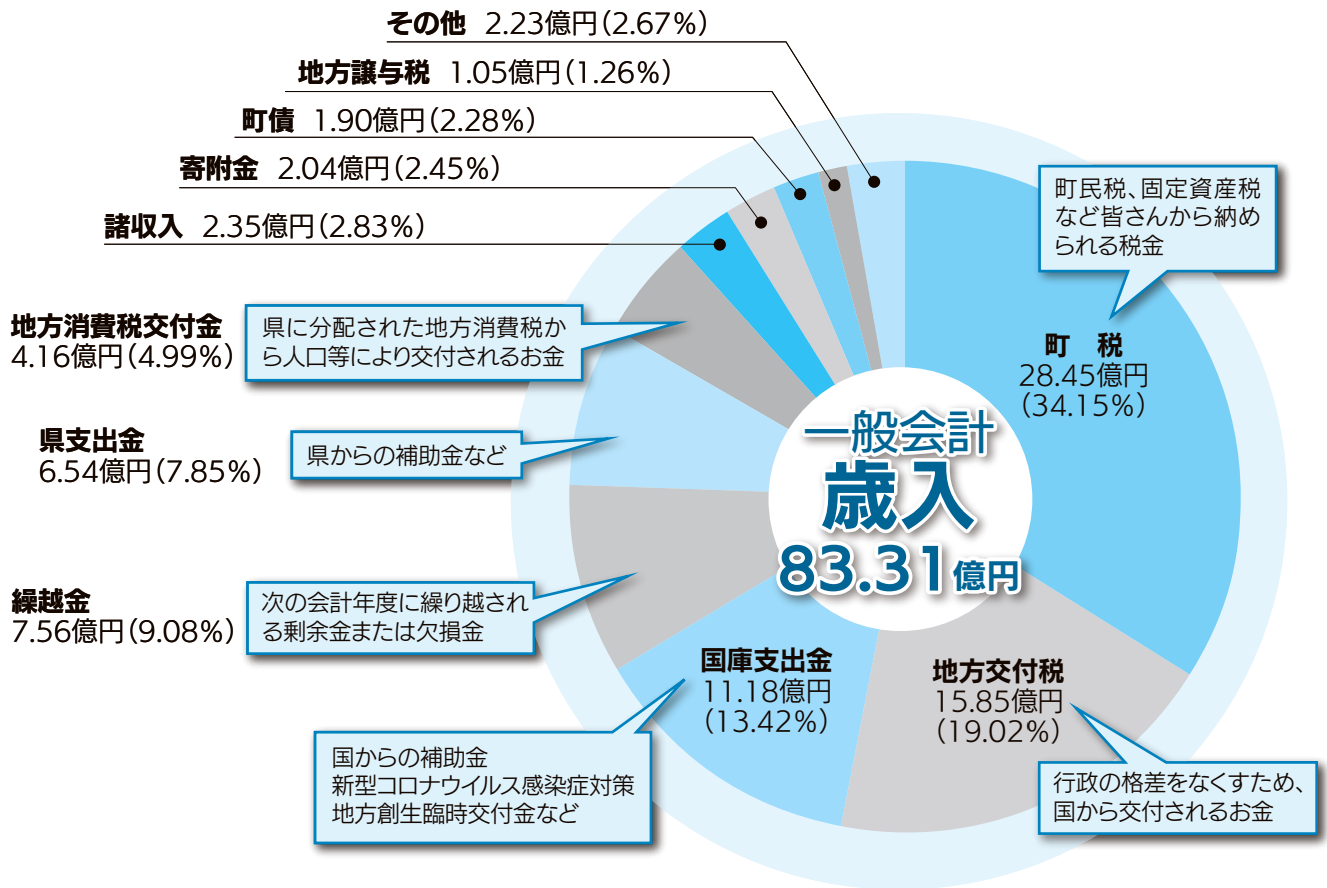
収入 6億9099万3963円
支出 6億3259万 742円

資本的収入および支出

収入 1億2098万6000円
支出 3億2604万9671円

※収入不足については、損益勘定留保金などにより補てんしました。

令和4年度一般会計決算収支状況



返礼品の拡充で 町へのふるさと納税が2億超え



総務建設常任委員会 決算報告

杉田しのぶ 委員長

令和4年度吉見町一般会計決算のうち、本委員会が所管する議会費、総務費(町民健康課所管分を除く)労働費、農林水産業費(水生活課所管分を除く)、商工費、土木費(水生活課所管分を除く)、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金および予備費について決算審議を行いましたので、主な内容について報告します。

令和4年度ふるさと納税寄附額は

魅力ある返礼品の追加やポータルサイトの拡充を行ったことにより、令和3年度と比較して倍増の2億175万3千円の寄附額となりました。埼玉県内で第10位の寄附額となっています。

令和4年度地方債残高は

地方債(町の借金)の発行を令和4年度に返済する元金分未済にしたため、令和3年度末と比較すると残高は約3億6354万円減少しています。今後についても将来的な財政支出を想定しながら、財政指針を踏まえた地方債活用、残高管理に努めていくとのことでした。

返礼品の一部



新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援の実績

新型コロナウイルス陽性者およびその家族の不安を少しでも軽減し、安心な療養生活を過ごしていただくため国の交付金を活用し、パルスオキシメーターの貸与444件、食料品および日用品の支給548件、1926人分、抗原検査キットの無料配布2832件をそれぞれ職員が自宅まで配達しました。

ジャンボタニシ防除薬剤補助事業の対象は

吉見町農作物病害虫防除協議会において、東第二地区および権平耕地の一部を対象地区とし、購入額の2分の1を補助しています。町ホームページでお知らせの他、農協では対象地区の農業者にチラシを配布し、周知しています。

動画配信と議会広報紙への町民の意見は

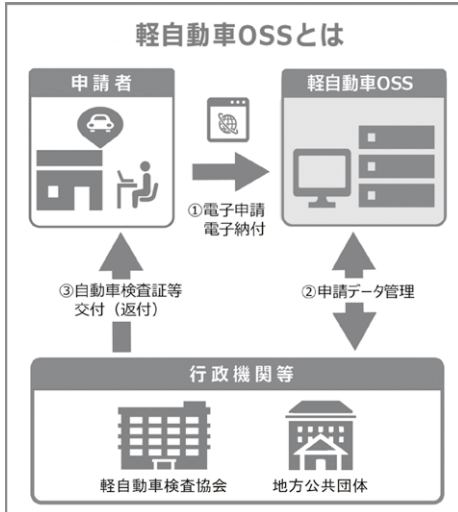
「本会議をいつでもどこでも視聴できるようになり、便利になった。議会広報紙は要約されているためわかりやすい」という声が議会事務局に寄せられています。

録画配信は、4営業日後の午後までに配信されています。今後もより多くの方に視聴していただけるように公式SNSも含め、更なる周知を要望しました。



軽自動車OSSの内容は

令和5年1月から全国一斉にワンストップサービスが開始され、新規車両の電子申告および車検の際に必要な軽自動車税の電子確認が可能となっています。納税者の利便性の向上および事務の効率化が図られたものです。



主要地方道東松山鴻巣線4車線化事業 土地価格や物件補償額の算定は

埼玉県から受託している用地取得事務やう回路の整備に係る土地価格については、沿線土地の公示価格や取引事例等の調査を不動産鑑定士へ依頼しています。また、物件補償額については、補償コンサルタント業者へ依頼し、埼玉県の基準に基づいて適正に行なわれています。

土地価格や物件補償額については、社会情勢などにより価格の変動が生じるため、毎年、時点修正が行われています。将来の価格変動は予測することができないため、交渉の際には価格について説明し、ご理解をいただいたうえで契約が進められています。



デマンド型交通利用実績は

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減少傾向でしたが、令和3年度から令和4年度にかけて増加傾向となっています。運行委託料については利用者数が増加すると利用料を充当しているため、委託料は減少していくものとなっています。

今後3台目の導入が予定されていますが、引き続き利用者の声や社会状況の変化等を注視し、デマンド型交通の更なる利便性と持続可能性の向上に向け取り組んでいくとのことでした。

地域おこし協力隊の業務内容は

令和4年度から2名が地域おこし協力隊として吉見町に移住し、農業振興、空き家の利活用など、地域での活動と併せ、情報発信に取り組んでいます。

地域おこし協力隊の活動を町民に広く知っていただくとともに、協力隊を通じて、町の情報や魅力がより多くの方に伝わるよう努めてほしいと要望しました。



宮堂 友佑さん



中村 絢さん



築地本願寺での活動 (10月8日(日))

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。

新型コロナウイルスワクチン接種対策費



文教生活常任委員会 決算報告

尾崎 豊 委員長

令和4年度吉見町一般会計決算のうち、本委員会が所管する総務費（町民生活課所管分）、民生費、衛生費、農林水産業費（水生活課所管分）、土木費（水生活課所管分）、教育費および国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公設浄化槽事業特別会計、水道事業会計について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金は

ワクチン接種に要する、医療機関での個別接種の委託料や集団接種に関する対象経費は、国から全額交付されたものです。

マイナンバーカード申請サポートの内容は

マイナンバーカードの交付枚数は5,002枚で、交付率は60.2%です。申請書の記入補助および地方公共団体情報システム機構への提出のサポートを実施しています。

産婦健診委託料は

母子ともに健康な状態で出産を迎えていただくため、妊婦健康診査等にかかる費用の一部を負担しています。母子健康手帳発行時に妊婦健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査助成券を配布しています。

第二次吉見町環境基本計画推進は

将来を担うこどもたちへの啓発の機会として職員による出前講座を開催しています。環境問題について学び、考えてもらうことで啓発に努めています。



ファミリーサポートセンターサポート会員は

ファミリーサポートセンターの講習会は、サポート会員の養成と会員登録を目的として、毎年実施しています。

ゲートキーパー養成講習会は

孤独・孤立を防ぐため、悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげる役割を担うゲートキーパーを養成するもので、民生委員などを対象に開催しました。

令和5年度妊婦健康診査・産婦健康診査 新生児聴覚スクリーニング検査助成券	
<p>この助成券は、あなたのお住まいの市町村が、妊婦健診に必要とされる健康診査等（産前産後）の費用の一部について、公費で負担するものであり、無料ではありません。</p> <p>※助成券の上限額を超えた分は、自己負担になります。</p> <p>※助成券使用時の注意事項は、裏面に必ず記載されています。</p> <p>お母さんの健康管理と赤ちゃんの健やかな発育のため、必ず健診を受けましょう。</p>	
<p>※注意：下記について必ずお読みください。</p> <p>妊婦健康診査、産前産後健康診査および新生児聴覚スクリーニング検査の受検は、健康診査センターまたは指定された市町村において必要となります。健康診査センターまたは健康診査センター指定された市町村において、健康診査助成券を使用することにより、市町村への情報提供について、同意したものとみなされます。</p> <p>※お母さんに対して、妊婦健診や産前産後、健康診査の健康診査を行うことがありますが、お母さんが希望されない場合は、健康診査センターにおいて、健康診査は行いません。</p>	
令和 年 月 日交付	母子健康手帳
発行市町村	吉見町
妊婦健診の氏名	
住 所	埼玉県
電 話	

助成券使用の際の注意事項
<p>《助成券の取扱いについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●助成券は、交付を受けた個人のみが使用できます。 ●市内の委託医療機関では、全ての助成券が使用できません。 ●市内の委託医療機関では、(1)市内の助成券(2)市内の助成券(3)110内の助成券(4) - 新生児聴覚スクリーニング検査及び産婦健康診査助成券のみが使用できます。 ●助成券の取扱いに関する場合は、事象にお住まいの市町村へお問い合わせください。 ●助成券を提出して受領した場合は、妊婦健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査及び産婦健康診査でなかった費用から助成券に記載されている金額が差し引かれます。（差額は自己負担になります）。
<p>《返出された場合》</p> <p>助成券が返出された場合、この助成券は使用できません。転居先の市町村へこの助成券を提出し、差し替えを行ってください。</p>
<p>《受診方法》</p> <p>助成券が返出された場合、妊婦健康診査・産前産後健康診査のある市町村へお申し込みください。必要に応じて結果を記入してもらいましょう。</p>
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全な妊娠・出産のため、血液検査、超音波検査等の必要な検査について医療機関で必ず受けましょう。 ●助成券は、母子健康手帳を持参し、必要に応じて結果を記入してもらいましょう。（上欄）は、年度により変更となる場合がありますので、必ずご確認ください。 ●新生児聴覚スクリーニング検査は生まれた際にも赤ちゃんを対象に行う必要がある検査です。またこの検査を受ける際は、適切な指導を受けるために必ず受けましょう。 ●産後の母体の身体的機能の回復、授乳状況及びこどもの健康等の必要な支援・検診について、医療機関で必ず受けましょう。

合併処理浄化槽設置整備費補助金は

下水道事業計画区域および農業集落排水事業の処理区域以外の区域に10人槽以下の合併浄化槽を新設する方は、単独処理浄化槽および汲取り便槽から合併処理浄化槽に転換する方を対象に設置費用の一部を補助するものです。

教育相談事業の内容は

ことば、きこえの教室は、言葉の発音の不明瞭さ、または難聴の児童生徒に対して、週1回程度、教育相談室で個別の指導を行っています。

マンガ制作委託料は

平安時代から鎌倉時代に活躍した吉見町にゆかりのある源範頼を主人公とする偉人マンガを制作したものです。



子どもの読書活動の推進に関する取組は

図書交流館では、読書意欲を高める一助となるように自身が読んだ本を記録できる、読書の記録通帳の普及に努めています。

生活支援体制整備事業は

高齢者の社会参加と地域における支え合いの体制づくりに取り組むもので、町社会福祉協議会に事業を委託しています。

ストックマネジメント修繕・改築計画策定委託は

令和2年度に策定した吉見町公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、腐食環境下にある管路内のカメラ調査およびマンホール内の立入調査を実施し、国の基準で5年以内の対応を必要とする工事計画の策定および概算事業の算出を行いました。



上下水道台帳管理システムは

窓口での埋設管の位置、口径などについての問い合わせや緊急時の対応に使用しているもので、上下水道で共通のシステムを使用しています。

浄化槽使用料および浄化槽清掃料は

令和3年度末までに設置した浄化槽は37基で、使用料は、現在休止中の1基を除いた36基分です。

水道料金口座振替は

水道料金の支払いは、口座振替のほか金融機関の窓口等での納入通知書による方法があり、口座振替による納付割合は、79.4%でした。さらに、郵便局での納入通知書は、利便性を向上させるため、令和4年12月より支払いを拡大しました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

議案

45

役場庁舎の整備に必要な費用の財源に充てるための基金

賛成
全員

主な質疑

問

基金の設置理由と目的は。

答

2041～45年度の間には改築予定としている。長期的な視点から財政運営に大きな負担がでないよう主に剰余金から年5千万円程度の積み立てを想定。

第5条の繰替運用の際には、議会にいつ報告するのか。

運用前に、議会に報告をする。

町は基金をいくつ管理しているのか。

公共施設等総合管理基金、財政調整基金、減債基金、森林環境譲与税基金、土地開発基金。

議員

提出者

議案

47

令和5年度 一般会計補正予算(第4号)

3億9613万9千円を追加し、予算総額を76億2959万8千円に

賛成
多数

—主な歳入—

(1万円未満切り捨て)

○地方交付税	1億 38万円
○出産・子育て応援交付金	▲654万円
○妊娠出産子育て支援交付金	654万円
○埼玉県魅力ある地域づくり事業補助金	2000万円
○財政調整基金繰入金	▲2億2963万円
○前年度繰入金	4億5508万円
○後期高齢者医療療養給付費負担金返還金	4268万円

—主な歳出—

(1万円未満切り捨て)

○障害者自立支援事業(返還金)	2253万円
①子どもの居場所づくり事業(工事請負費)	1999万円
②フレンドシップ・ハイツよしみ維持管理事業(委託料)	4000万円
○主要町道整備事業(工事請負費)	4000万円
③公園維持管理事業(委託料)	1500万円
④教育総務事業(中学校部活動補助金)	142万円
○公共施設等総合管理基金管理事業(積立金)	1億6499万円
○庁舎整備基金管理事業(積立金)	5000万円

主な質疑

問

1

子どもの居場所づくりの付帯工事費が、本体工事の約4割の額で認められるのか。

答

別工事なので問題はない。

子どもの居場所づくり事業の施設改修付帯工事のうち、アスベスト含有物撤去工事の調査の採取箇所が23か所だが、その根拠は。

専門業者に委託して、従来の図書館設計書等を参考に可能性のある場所とあわせ、目視により資材の状況を確認し決定した。

これ以上アスベスト含有場所が増え、追加の予算が必要はないのか。

新たな追加が無いよう細かく調査している。

議員

提出者

主な質疑

問 2



フレンドシップ・ハイツよしみの設計委託料が計上されているが、いつ再生することが決まったのか。

フレンドシップ・ハイツよしみ再生事業を行うにあたり、町民に問う必要があるのでは。

国からの交付金を受けられるのか。

国の交付金が決定していない中、設計を行う理由は。

国の交付金が受けられない場合、設計は無駄になるのか。

フレンドシップ・ハイツよしみ再生に向けた内容は。

設計委託料4千万円の根拠は。

答

これまで再生に向けて取組む旨、議会全員協議会で説明をしている。

地方活性化に向けて町の拠点としていく。

ハードルが高いが発注しながら続けていく。

今回申請する国の交付金は、単年度事業のみが対象となるため、申請要件を満たすため設計と改修工事の分割が必要。令和5年度に県補助金を活用し設計し、令和6年度に国の交付金を活用して改修工事をするもので、他自治体でも同様の取組がある。

仮に今年度の申請が不採択となった場合、次年度の申請、別の補助金、交付金の活用など再生に向けた財源の確保を検討し、設計が無駄にならないよう努力していく。

町内唯一の宿泊施設ということだけでなく、スポーツと町の農業・自然・里山を活用した地域活性化の拠点として、再生の意志決定を行い、国の交付金採択に向けて取り組んでいる。

施設・設備の改修内容など業務の仕様を作成し、8社からの見積額を踏まえ、予算計上した。
また、県補助金を充当する予定で、補助率は1/2。



問 3

樹木伐採委託料1500万円の内容は。

今後町内で被害拡大が懸念されるが、町として対策は協議されているか。

答

八丁湖公園内のナラ枯れによる樹木伐採84本と燻蒸処理の委託料。

県では、ナラ枯れ被害対策に関する方針を策定しており、枯死木の倒木、人的被害、家屋等の被害の防止などを最優先に対策を講じるとされている。町としても取組を進めていく。



問 4

新規事業の中学校部活動補助金の内容は。

すべての消耗品や備品に対するものなのか。基準を設けているのか。

答

部活動で使用する消耗品や備品の購入、楽器等備品の修繕料など部活動を支援するもの。

中学校の希望するものを教育委員会で精査の上、予算要求している。



反対討論

日本共産党 福田妙子議員

フレンドシップ・ハイツよしみ再生事業設計委託料4千万円が補正予算として組まれているが、納得することはできない。リフォームに約4億円を見込んでいるとの説明だが、財源はあるのか。国からの交付金について昨年度は不採択と聞いている。町民の声を聞きながら町全体で考えていくことが必要。したがって、今議会での予算化には反対。

反対討論

令和の会 小宮榮議員

子どもの居場所づくり事業は、工事も始まっていないのに、付帯工事費が元の請負契約額の約4割というのは、おかしい。また、フレンドシップ・ハイツよしみの再生か否かを議会にはからず、設計委託料4千万円を計上するのはおかしいので、反対。

杉田しのぶ議員

賛成討論

駅もない、国道もない、地域によってはバスも通ってない町となげく町民の方もいるが、町レベルで宿泊施設のある吉見町。町おこしの拠点として、フレンドシップ・ハイツよしみを大いに活用していくべき。
子どもの居場所づくり事業（仮称）こども家庭センターのアスベスト撤去工事は、6月議会でも補正予算で対応することが確認されており、全議員賛成で請負契約締結の議案が通っている。既存施設を有効活用することで生じるアスベスト撤去工事は、一般会計での対応が必要との立場で賛成。

議案

54

令和4年度 一般会計決算

賛成
全員

杉田しのぶ議員

賛成討論

公募による実行委員会が組織され、町民のみなさんの心に残る大輪の花火やいちごまつりを始め、さまざまなイベントが企画されて、吉見町への愛着が一層深まる50周年記念事業となった。
令和4年度子ども議会から議会の動画配信が始まった。町民のみなさんに町政を身近に感じていただき、関心を持っていただくためにも、議会の様子を多くの方にご覧いただき、あらゆる形で今後につながることを期待している。

請願第1号 国へ「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願

賛成
少数

紹介議員 杉田しのぶ議員

請願者 埼玉土建一般労働組合 東松山支部 支部長 中山 隆

趣旨 健康保険証の廃止は行わず現在の健康保険証が引き続き使用できること、国の責任においてこれまで通りの医療が受けられることを求め、「現行の健康保険証の存続を求める意見書」を国に提出してください。

主な質疑

問

文教生活常任委員会審査では、賛成少数で不採択とのことだが、賛成は何人で、反対は何人であったのか。

賛成、反対それぞれ自身の見解を明らかにして表決に臨まれたのか。賛成、反対の討論の人数は。

答

賛成は2人、反対は4人。

賛成討論は2人、反対討論は1人。

議員

委員長

政府の個人情報保護委員会はデジタル庁を行政指導した。制度への信頼は大きく揺らいでいる。政府はまず国民の不安を払しょくするよう努めるべきだ。

マイナンバーカードと健康保険証を一体化したマイナ保険証を国民に強要するため岸田政権は、来年秋に現行保険証を廃止しようとしている。

すでに始まっているマイナ保険証は、利用が少ないにもかかわらず、既然大混乱を巻き起こしている。現行保険証のしくみを引き続き使っていくことこそ適切な対応ではないのか。マイナ保険証を登録するかどうかは、個人の任意であり国が強制するものではない。

資格確認書は、マイナ保険証を持たない人全員に申請なしで交付されるものだが、マイナンバーカードに保険証を登録した人は、ポイントをもらうために行ったという人が大半で、マイナ保険証を持っていても利用したくない人が多く、利用率も減少している。

マイナ保険証の利用に懸念があるため現行の保険証を残して欲しい、マイナ保険証を持っていても、利用するかしないかは、本人に選択権を残してほしいという請願であり、今、意見書をあげるべき。

反対討論

健康保険証が廃止されて、マイナ保険証を登録されていない方でも引き続き医療が受けられるよう、国の対策として被保険者資格を確認するため、資格確認書の対応がなされる。マイナ保険証をお持ちでない方には、プッシュ方式で自治体が発行するもの。医療が受けられなくなることはない。

一 部 事 務 組 合 報 告

北本地区衛生組合議会定例会
し尿処理

» 尾崎 豊 議員

日 時 令和5年7月31日(月) 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席者 秋山真美 尾崎 豊 神田 隆

吉見町の令和4年度搬入量は、5827.98KLで前年度に比べ0.9KLの減量です。し尿は113.33KL増量で、浄化槽汚泥は262.75KL増量ですが、農業集落排水汚泥が148.52KL増量が主な要因。

なお、上程された議案は、管理者提出議案2件と議員提出議案1件。

付議された議案

議案第9号 令和4年度決算の認定について
歳入決算額は、3億1581万3214円。歳出決算額は、2億8505万6495円。歳入歳出差引額3075万6719円。
議案第10号 監査委員の選任について
議提第1号 北本地区衛生組合議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
いずれも原案のとおり認定、同意、可決されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会
消防、斎場、介護認定・障害支援区分審査等

» 杉田しのぶ 議員

日 時 令和5年8月9日(水) 午前10時から
場 所 東松山市議場
出席者 神田 隆 杉田しのぶ

消防業務では、熱中症に係る救急搬送者数は、7月末現在で、合計101名。指令業務共同運用は、庁舎改修工事および高機能消防指令システム設計業務が終了し、令和6年4月運用開始予定。車両関係では、滑川分署に高規格救急自動車、小川消防署に資機材運送車、東秩父分署に連絡車を、また、東松山消防団および東秩父消防団の車両更新配備。斎場および霊きゆう自動車事業では、7月末までに火葬1799件、小動物火葬261件の利用。

付議された主な議案

議案第21号から議案第25号は、一般会計および特別会計の補正予算。
議案第26号から第30号までの決算は、下記のとおり。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	7217万850円	6429万4926円	787万5924円
消防特別会計	33億4665万4178円	31億3918万9122円	2億746万5056円
斎場および霊きゆう自動車事業特別会計	2億387万6101円	1億8151万2368円	1887万3733円
介護認定および障害者支援区分審査会特別会計	8009万5244円	6500万6116円	1508万9128円
公平委員会特別会計	118万2673円	97万8720円	20万3953円

いずれも原案のとおり認定、同意、可決されました。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	秋山	尾崎	岩崎	宮崎	杉田	小宮	神田
議案第44号	北本地区衛生組合の規約の変更及び財産処分について	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第45号	吉見町庁舎整備基金条例	P8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第46号	吉見町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第47号	令和5年度吉見町一般会計補正予算(第4号)	P8~10	可決	●	●	×	●	×	●	●	●	×	×	●	×	議長	
議案第48号	令和5年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第49号	令和5年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第50号	令和5年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第1号)	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第51号	令和5年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第52号	令和5年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第53号	令和5年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)	-	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第54号	令和4年度吉見町一般会計決算認定について	P2~7・10	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第55号	令和4年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第56号	令和4年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第57号	令和4年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第58号	令和4年度吉見町下水道事業特別会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第59号	令和4年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第60号	令和4年度吉見町公設浄化槽事業特別会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第61号	令和4年度吉見町水道事業会計決算認定について	P2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第62号	人権擁護委員の候補者の推薦について	P12	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第63号	教育委員会委員の任命同意について	P12	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

議員提出議案

請願第1号	国へ「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	P10~11	不採択	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	議長
-------	---------------------------------	--------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

人 事

人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員に
沖田 澄江 氏を
推薦(再任)しました。
上砂在住



教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に
高木 信恵 氏を
任命同意(再任)しました。
和名在住



定例会のお知らせ

吉見町議会 **12月定例会**
12月5日(火)から開催される予定です。

詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

令和4年12月定例会から動画配信を開始しました。

ライブ配信または録画配信は、このQRコードを読み込んで、ご覧ください。



議会だより編集に係る訴訟 (国家賠償請求事件)について

令和4年6月28日に吉見町が国家賠償請求事件(令和4年(ワ)第287号)の被告として、熊谷簡易裁判所(令和4年9月26日さいたま地方裁判所熊谷支部へ移送)に提訴され、同年9月26日の第1回口頭弁論から令和5年6月2日の結審まで6回の審議が行われ、令和5年7月25日に原告の請求を棄却する判決が言い渡され、控訴期間中に控訴がなかったため、判決が確定しました。

町政に対する 一般質問

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、掲載しています。

1 福井 学 議員

P14

- 問1 B&G海洋センタープール閉鎖の経緯
- 問2 マイナンバーカードの健康保険証利用
- その他の質問 防災でのSNS利用



7 杉田 しのぶ 議員

P17

- 問1 アライグマ駆除の現状と対策
- その他の質問 ふるさと納税の使途
公共施設のLED化



2 尾崎 豊 議員

P14

- 問1 今後も気温の上昇が心配される暑さへの対策
- 問2 生涯活動の推進
- 問3 障害者支援事業
- その他の質問 湯水時の対応



8 宮尾 美千代 議員

P17

- 問1 学校体育館および町民体育館の整備
- 問2 学校図書室の整備



3 大野 陽康 議員

P15

- 問1 地域コミュニティの再構築・活性化
- 問2 学校教育の現状
- 問3 小学校統合再編計画



9 秋山 真美 議員

P18

- 問1 防災減災対策
- 問2 HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチン接種
- 問3 マイナポータル、びったりサービスの活用
- その他の質問 公共施設のトイレの環境整備



4 福田 妙子 議員

P15

- 問1 小学校統合再編
- 問2 災害時の避難
- 問3 通学路の安全対策
- 問4 学童保育



10 吉田 克之 議員

P18

- 問1 中央市街化区域の基盤整備の遅れと今後の住環境整備
- 問2 人・農地プランを対象地区で進めているが、対象地区ごとの進捗状況



5 小宮 榮 議員

P16

- 問1 下水道事業は計画どおり進んでいるのか
- 問2 ごみ焼却施設の進捗は
- 問3 今後のフレンドシップ・ハイツよしみの運営
- 問4 B&G海洋センタープールはなぜ2年間も使用していないのか
- 問5 敬老会の名簿を廃止した理由は
- 問6 小学校の統合再編



11 宮崎 雄一 議員

P19

- 問1 荒川の堤防決壊による洪水対策



6 新井 寛雄 議員

P16

- 問1 安全安心まちづくり
- 問2 教育・子育て政策
- 問3 町内の史跡・文化財
- 問4 治水計画



12 伊藤 えりか 議員

P19

- 問1 移住・定住促進事業
- 問2 子育て支援



子どもたちにプールを開いてあげて

» 福井 学 議員



問1 B&G海洋センタープール閉鎖の経緯は。

答 漏水箇所の特定に時間を要した。修繕費を計上した補正予算案を今議会に提出したので、漏水箇所を速やかに修繕し、利用再開に努めたい。

問 よしみけやき保育所ではB&Gプールを使用していたはず。保育士の業務が増えたのでは。

答 保育所内に幼児用プールを仮設し、園庭の水遊び場も利用してプール活動と水遊びを行った。温水シャワーも活用した。時間、人員配置を計画的に進めたため、職員の業務量に影響は出なかった。

問 猛暑で屋外プールは今後厳しくなる。新設小学校のプールも屋内プールを含めて考えるべきだ。

答 小学校統合再編とあわせ、B&Gプールのあり方を検討していく。

問2 吉見町でマイナンバーカードを健康保険証とし

て登録している人は。

答 国民健康保険制度でマイナ保険証として登録する人は2279人、登録率50%。後期高齢者医療制度では1184人、登録率38%。

問 町内医院に尋ねると、受診受付でマイナ保険証を提示する患者は、今は1割程度。紙の保険証が来年秋から利用できなくなるが、混乱が生じないか。

答 国はマイナ保険証を前提とするが、資格確認書でも保険医療が受けられる。マイナ保険証と資格確認書、二方式に分かれることから、受診受付で混乱の恐れもある。マイナ保険証は受診受付の自動化、初診料負担が軽減、高額医療費の申請も立替もいらず、確定申告時に医療費控除が自動化され領収書も保管しなくて良いなど、利用にメリットも多い。



夏のプールは子どもの大切な居場所

猛暑が続きましたが暑さ対策は

» 尾崎 豊 議員



問1 猛暑への対策として中学校の体育館および町民体育館等へのエアコンの設置は。

答 冷風機の利用促進も含めた効果的な熱中症対策を進めていく。

問 小・中学校での暑さ対策も必要。登下校を含め夏場の対策は。

答 登下校時や熱中症対策は、国や県の通知を踏まえた適切な対策をとるよう各校へ指示している。児童・生徒の安全確保を最優先に対応している。

問2 図書交流館の本の貸し出し状況は。

答 図書交流館は、令和3年7月に新規開館してから2年が経過した。開館の時期がコロナ禍と重なったこともあるが、本の貸出状況は増加している。

問 文化・芸術活動の推進として、県展等の入選作品および小・中学生の各入選作品の展示は。

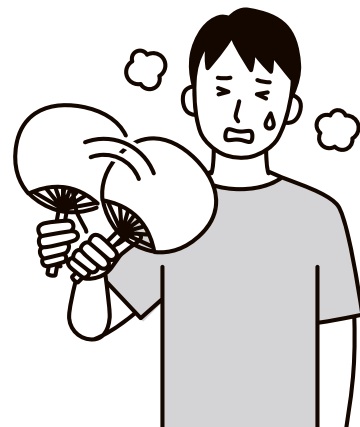
答 今年度、町民会館では「埼玉芸術文化祭2023」地域文化事業を開催する。そこで、県展等の入選作品の展示を予定している。

問3 福祉タクシーの利用状況は。

答 令和5年4月から7月末までの利用者は22名。

問 燃料代としてガソリン代の助成を希望する人もいるが、今後の支援策として燃料代の助成は。

答 近隣の自治体でも実施していることから、既に実施している自治体の助成内容や対象者を調査していく。





地域コミュニティの 充実(再構築と活性化) のために

▶▶ 大野 陽康 議員

問1 今年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、祭りや地域の伝統行事も再開され始めている。町ではそういった行事や事業への助成を行っているのか。助成制度を設けることで各行政区(自治会)の活動の充実につながると考えるがどうか。

答 各行政区(自治会)が自主的に行う活動に対して町からの助成制度はないが、一般財団法人自治総合センターが行っている「コミュニティ助成事業」を活用し、備品・設備の整備に助成を行っている。

問2 今年度の全国学力・学習状況調査の結果の公表から見る吉見町の児童生徒の学力の傾向はどのような状況か。また、吉見町立小・中学校の「学校における働き方改革」の取組(推進)状況はどうか。

答 学力の傾向としては、基礎的・基本的な内容につ

いては比較的身に付いているが、記述式の問題に対して苦手意識が高い傾向がある。この結果を受け、児童生徒の一層の学力向上につながるよう指導方法の改善に努めていく。また、働き方改革では、「吉見町立小・中学校における働き方改革基本方針」を策定、4つの目標を設定し、これを推進している。

問3 吉見町立小学校統合再編計画について、どのように町民へ周知しているか。また、「統合小学校の校名案の募集」の状況はどのようなだったか。

答 町ホームページや広報等を通じ、広く町民への周知を図っている。校名案の募集では、総数549件、校名案数205案の応募があった。



「北の盆踊り」 令和5年8月12日(土)開催 於:北小学校校庭



吉見町小学校 統合再編は

▶▶ 日本共産党 福田 妙子 議員

問1 建設予定地を中学校敷地内としているが、小学生のスクールバスでの登下校時の安全対策は。

答 児童が安全に、安心して登下校出来るよう、スクールバスの運用については、しっかり取り組んでいく。

問 中学生が自転車通学時に、小学生との接触事故等を防ぐ安全対策は。

答 スクールバスの乗入れ場所や駐輪場、徒歩通学児童の動線を明確にすることで、安全確保に努める。

問 小学校専用の運動場や体育館の設置は。

答 現在、校舎の規模や配置等の検討をしているが、体育館は新たに建設する計画。運動場はまだ決まっていない。

問 教育環境を考えると小学校を1校にするのではなく、2校に統合することはいかがか。

答 保護者アンケートでは複数学級を望む結果が8

割を超え、協議・検討を重ね、6校を1校にする計画。

問2 新設小学校を中学校の敷地内としているが、避難場所とすると。

答 中学校は、洪水時3階以上が指定緊急避難所。

問3 田甲地域の事故多発の交差点への表示・標識の配慮は。

答 安全対策として、交差点の注意を促す区画線の設置やカーブミラーを設置するなど、安全に通行できるようにする。

問4 保育場所として、東一小および西小の余裕教室の活用は。

答 今後、学校との話し合いを持ち、余裕教室の活用など計画的に行なっていくように考える。



1日も早い安全な通学路に

町民の声を聞け

▶ 令和の会 小宮 榮 議員



問1 下水道事業は計画どおり進んでいるのか。予定では、中央市街化区域に入っているが、どうなっているのか。また、6年間下水道工事を行っていないがなぜか。

答 既設管路の一部で腐食等により改築の必要性が判明し、速やかな改築が必要となった。また、中央の管路工事の実施設計を実施。同時に進めて行くには財政的に難しい。優先度を見極め実施する。

問2 ごみ焼却施設の進捗状況は。当初の計画どおり進んでいれば、稼働していた。当初と今では、資機材料費等が高騰し、工事費と管理費用をあわせて、100億円ぐらい高くなっているが、できるのか。

答 建設予定を鴻巣市郷地安養寺地内に決定した。一部事務組合内に建設検討委員会が設置され、計画策定に関する調査研究および検討が進められている。

問3 今後のフレンドシップ・ハイツよしみの運営について、町民の意見を取り入れないのか。

答 ※サウンディング調査の結果、施設再生に向け、取り組んで行く。

問4 子どもたちが待っているB & G海洋センタープールは、なぜ2年間も使用していないのか。

答 漏水箇所の特定に時間がかかり、再開できなかった。

問5 敬老会の名簿を楽しみに待っている人が大勢いるのに、なぜ廃止したのか。

答 個人情報保護のため廃止した。


問6 小学校の統合再編で、体育の授業をふれあい広場でやるようだができるのか。

答 基本的に学校敷地内で実施する予定。

※サウンディング調査とは、公有地等の活用検討の早い段階で、その活用方法について民間事業者から広く意見・提案をもらい、対話を通して公有地等の不動産市場におけるポテンシャルや事業者が参加しやすい公募条件を正確に把握するための調査。



再生か否か 町民の声を聞け



安全な吉見町で町民が安心して生活するために

▶ 令和の会 新井 寛雄 議員

問1 現在の吉見町は、安全安心なまちづくりについてどのような課題を抱えているか。

答 関係機関・団体と協力し、安心して暮らすことができる安全な社会の実現に向け取り組んでいる。

問 防犯カメラの設置状況は。

答 公共施設の敷地や施設内に施設管理や監視、防犯対策を目的に設置している。

問2 教育・子育て対策における吉見町の教育の特色・重点は。

答 吉見町教育大綱を定め、毎年度「吉見町教育行政の重点施策」を定めている。

問 子どもたちの未来のためにとれる対策は。

答 より良い教育環境の構築を目指し、小学校の統合再編計画を策定し、令和10年4月の統合小学校の開校を目指して計画している。

問3 町内の史跡・文化財で、現在町で把握している課題と今後の課題は。

答 それぞれの史跡・文化財において、保存管理上、様々な課題がある。

問 町内の史跡・文化財を観光資源として活用する場合、周辺道路等の整備状況と今後の課題は。

答 周辺道路に限らず、町管理道路は、多くの皆様が安全に通行できるよう維持管理に努めている。

問4 河川氾濫時の課題と今後の対策は。

答 想定被害額の参考として、令和元年台風第19号の際の東松山市の水害被害額は約186億円。荒川が氾濫した際には、浸水想定区域内の住民は避難が必要。安全かつ適切な避難行動になるよう各種訓練等を実施し、いざという時の備えが必要。



万が一に備えておきましょう



アライグマの駆除の現状と対策

» 杉田しのぶ 議員

問 平成20年から5年毎の捕獲頭数の推移は。

答 平成20年35頭、平成25年63頭、平成30年173頭、令和4年529頭で増加傾向にあり、これまで16年間で2974頭が捕獲されている。

問 アライグマ捕獲従事者講習受講者の人数は。

答 駆除に関する法律、生態や被害対策、捕獲についての研修で、現在まで337名が受講している。

問 箱わなの保有台数と貸し出し状況、1台あたりの単価はいくら位なのか。

答 町では100基保有。被害の多い3月～7月頃は貸し出しが増え、予約待ちになることもある。一般的な1台あたりの単価は1万2千円～1万5千円。

問 仕掛けたい時に町から箱わなが借りられない状況もあるが、維持管理の面からもこれ以上増やすのも現実的でない。購入費の1/2補助制度の創設を。

答 個人が購入し、町全体に箱わなが増えれば捕獲圧が高まる。補助金制度について検討していく。

問 アライグマ駆除対策として3つの提案をする。

①出産・授乳時期にエサを求めて活動が活発になる3月～6月を春期捕獲推進期間に設定して、捕獲を強化する。②町内でアライグマ捕獲従事者講習を受講された方に、春期捕獲推進強化への協力を呼びかけ組織化する。③箱わなの補助金制度や捕獲活動にも補助金が交付される鳥獣被害防止総合対策交付金の活用。3つを実行し、捕獲対策のさらなる強化を。

答 ①は今後検討。②は今後協力を呼びかけるが、組織化は多くの課題を整理する必要がある。③は有識者や関係者で組織する対策協議会を組織することが条件であるため調査研究していく。

令和4年度 アライグマ捕獲頭数			
東	西	南	北
93	275	81	80



体育館にエアコン設置を

» 公明党 宮尾美千代 議員

問1 学校教育の場、また、スポーツ推進の場であるとともに避難所として指定されている学校体育館および町民体育館にエアコンを設置する考えは。

答 学校体育館も町民体育館も冷風機の設置や網戸等で換気を行い、熱中症対策をしている。しかしながら、今後は、エアコン導入に向けた課題を整理するとともに、他の自治体での導入事例など調査研究する。

問 調光機能付きLED照明への改修する考えは。

答 現在学校施設における照明のLED化は、順次導入している状況。公共施設の照明はLED化に向け全庁的に検討している。その中で、調光機能付とすることは必要性、経済性などを考え検討する。

問2 学校図書室の整備について、町独自の廃棄規準はあるのか。

答 教育委員会として、学校図書に関する蔵書の廃棄

規準は定めてないが、学校図書館図書標準に基づき蔵書数を確認しながら各学校で適宜廃棄する。

問 学校司書をおく考えは。

答 町独自の配置は、検討していない。

問 蔵書をデータ化し、処理しやすくするためのシステムを導入する考えは。

答 システムの導入の検討は行っていないが、今後導入している自治体の事例を参考にしながら調査する。

問 蔵書の更新と新規購入の規準は。

答 教育委員会として蔵書の更新や新規購入の具体的な規準は定めていない。



本が読みたくなる図書室に



在宅医療機器の 停電時電源確保へ 支援を

» 公明党 秋山 真美 議員

問1 人工呼吸器など家庭で医療機器を使用している方にとって、停電時に使える非常電源の確保は重要。災害などの停電時に、日常生活を支障なく営むことができるよう自家発電装置やポータブル電源（蓄電池）の購入に対する補助金制度創設の考えは。

答 現在、県内26市町で障害者等日常生活用具給付事業により補助が実施されている。実施自治体の補助内容等を調査し、検討していく。

問2 女性に対し定期接種となっている*HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、2020年12月には、4価HPVワクチンの男性への任意接種が承認された。男女に接種することで相互感染抑制効果も期待される。男性へのHPVワクチン接種に対する費用助成の考えは。

*HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンとは、子宮頸がんをはじめとするヒトパピローマウイルス（HPV）感染症の原因となるHPVの感染を予防するワクチン。

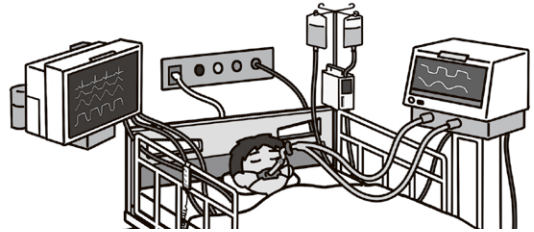
答 町の予防接種事業は、予防接種法に基づく定期接種を基本に取り組んでいる。男性へのHPVワクチン接種は、任意接種のため現時点では町独自の助成制度は考えていない。今後は、有効性と安全性の議論等、国の動向を注視していく。

問3 ぴったりサービスの活用状況は。

答 検索・電子申請機能を利用し、パソコンやスマートフォンなどで「いつでも」「どこでも」電子申請することができるサービス。町では、11の行政手続き情報の提供に活用している。

問 活用範囲拡充の考えは。

答 国が優先的にオンライン化を推進するべきとしている子育て関係の15手続きや介護関係の11手続きについて、町民の利便性向上のため、先進自治体の導入事例などを参考に検討を進める。



在宅医療機器には、人工呼吸器、たん吸引器、酸素濃縮器などがある

中央市街化区域の 基盤整備の遅れと 今後の整備計画

» 吉田 克之 議員



問1 町内の市街化区域3か所では土地区画整理が行われ、事業が完了している。最初に指定された中央市街化区域は、未だに住環境整備が遅れているが、今後の整備計画は。

答 中央市街化区域は、土地区画整理事業が行われず、宅地利用が難しい土地や滞留している水路など、整備が遅れている箇所がある。地元から要望のあった箇所について、狭隘道路の整備や側溝の敷設、水路の改修などの環境整備をこれまで進めてきた。

その後、主要地方道東松山鴻巣線の4車線化が事業化され、中央分離帯による移動制限の緩和と住環境整備に繋げるため、う回路の整備を進めている。

問2 東松山鴻巣線の4車線化に伴うアクセス道路整備の現地調査、説明会が進んでいるが、工事着手時期と完成に伴う市街化区域内の住環境整備は。

答 う回路の整備は、地元の説明会を実施し、整備する路線を決め、令和2年度から測量を順次実施している。工事については、県道工事の進捗状況に合わせ進める。う回路が完成すると道路がなく開発できなかった土地が活用でき、住環境整備の向上に繋がる。

問3 人・農地プランを対象区域で進めているが、中間管理事業の推進と進捗状況、就農者・担い手の募集育成の施策は。

答 町内5つの地区で取組を進めている。プラン策定後は、各地区で定めた方針に基づき、土地所有者と耕作者の円滑な土地の貸し借りが進められるよう、農地中間管理事業を活用し、地区の中心経営体への集積、集約を各地区で進めている。耕作者の高齢化と担い手不足は、長年の課題。今後も努めていく。



町の中の市街化の遅れ



荒川の堤防決壊による洪水対策を

» 令和の会 宮崎 雄一 議員

問1 浸水深標識設置工事の内容は。

答 災害リスクの更なる周知と洪水時における避難所等の認知度および危機意識の向上を目的として、洪水標識と避難所表示板を公共施設や集会所、公園付近の電柱に取り付けしたものを。

また令和2年度に交付金を活用し、吉見町防災ハザードマップを作成し全戸配布した。

問 内水への対策は。

答 大串台山地区にある吉見排水機場を含め、市野川沿いには4か所の排水機場を設けて、荒川や市野川の水位が上昇しても、内水を強制的に排水できるようにしている。

問 床上浸水する予想棟数、避難する住民の人数を東西南北地区別に。

答 令和5年8月1日現在、東地区1922世帯、4570人、

南地区1375世帯、3206人、北地区995世帯、2402人、西地区488世帯、1132人と推計。合計浸水世帯4780件、避難人数11310人、世帯、避難者とも町全体の約6割となる。

問 今後の堤防強化に向けての要望活動は、どのように行うのか。

答 堤防強化においては期成同盟会を通じ、毎年国関係機関への要望活動を実施するとともに、平時においても相談等すべき事案が生じた際は、適宜国関係機関へ連絡し、必要な対策を検討いただいている。

問 住民からの署名を募り、国へ要望する考えは。

答 答弁はありませんでした。



荒川右岸堤防未整備区間の1日も早い整備を求む



移住者 定住者 子育て世代が 興味を持つ町に

» 伊藤 えりか 議員

問1 移住・定住するためには住む家が必要不可欠。第六次吉見町総合振興計画において吉見町空家等対策計画の中で空き家バンクの設置を検討しているが準備はしているのか。

答 住宅取得にあたり、中古物件や空き家を求める方もいるが法律の規制などにより、自由に空き家を活用できない町の実態もある。法律に基づく規制や制限も含めて、空き家の情報を適切に伝えていく手法を検討している。

問 ここ3年間の子育て世帯定住化促進奨励金交付実績をみると、中古物件が1、2件ととても少ないが、中古物件を探す人が少ないのか、様々な条件を満足出来る中古物件が無いのか、その理由は。

答 夫婦のいずれかが吉見町出身という世帯が65%を占め、ほとんどの方が実家の敷地内、あるいは

実家に近い土地を確保し住宅を新築している。

問 地域おこし協力隊の活動を広く周知する事や吉見町への移住者の先輩として町外に対する情報発信をさらに強化していく考えは。

答 民間と比較して特に行政が苦手とする分野でもあるSNSの活用戦略、フォロワー数を直接的に増やすための取組などは、効果的な支援やサポートを模索している。

問2 今年度始まった産後ケア事業の現状と産前産後サポート事業も早期に取り入れていく考えは。

答 本町では助産師が居宅を訪問する訪問型産後ケアを実施している。様々な相談事業や子育て支援事業の中で、サポートが必要な方が、不安や生活上の困りごとを相談できるよう取組を進めていく。



移住者、定住者に向け活用していくためには

～議会広報づくりにひと工夫を～



『よしみぎかい』編集に携わる5名の委員が、8月25日と9月27日の2日間、都内で研修を受講しました。これは全国町村議会議長会が毎年開催するもので、町村議会議員が全国から集まり、住民目線の議会広報について学びました。

議会広報はまちづくりの議事を公開し、議案が議論された経過などをお伝えするもので、見やすさと正確な情報が求められますが、それだけでなく著作権や肖像権といった法律用語や事例を再確認することや、偏らないよう配慮が必要なことなどが講師から指摘されました。

講義を聞いた議員のひとり「議事を並べるだけでは、伝わらないと痛感した」「配慮が必要なことがたくさんある」と話しています。町民のみなさまの暮らしに直結する情報を詳しく、正確に、かつ見やすくお伝えできるよう、今後の議会広報づくりに反映してまいります。

ご意見をお待ちしています。
 議会事務局電話 63-5024
 メール y-9029@town.yoshimi.saitama.jp

表紙の写真によせて



9月16日(土)6つの小学校で運動会が行われました。元気な子どもたちの姿と家族の声援が秋空を熱くしました。保育所は10月7日(土)に行われ、お父さん、お母さんも一緒に楽しみました。体育祭は雨天のため中止で残念でした。



水害への備えを万全に



(左から)村田荒川上流河川事務所長、神田議員

江和井地先から一ツ木地先にかけての荒川右岸堤防整備を求める要望書を3343名の署名とともに、国土交通省関東地方整備局へ提出しました。



提出に同行した議員と山口衆議院議員(右から3人目)

編集後記

地域の夏祭りが4年ぶりに町内各地で行われました。神輿^{みこし}を担いで子どもたちが路地^{まつりばやし}を歩き、祭囃子^{ゆかた}が響くなかで浴衣姿の男女が吉見音頭を踊り、こうのす花火大会では夜空に大輪の花が咲きました。この3年にわたって遠ざかっていましたが、にぎわいが戻り、たくさんの笑顔に会うことができました。

感染症への警戒を緩めてはいけませんが、物価高騰により生活が苦しくなるなか、暮らしに安心を望む声がにぎわいを後押しし、笑顔につながったのでしょうか。町内各地でにぎわいが続き、さらに多くの笑顔につながるよう、頑張っています。表紙写真へのご応募もお待ちしています。

(福井)

議会だより編集特別委員会

委員長	杉田しのぶ
副委員長	福井学
委員	吉田克之
委員	福田妙子
委員	伊藤えりか
相談役(議長)	神田隆

この議会だよりは再生紙を使用しています。